

亀岡市障がい者基本計画策定のためのアンケート調査

18歳以上対象 調査票（案）

〈調査ご協力のお願い〉

亀岡市の福祉行政の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、現在、障がい者施策の基本計画として、「第4期亀岡市障がい者基本計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、心身に生活のしづらさを抱えている皆さまの実情やニーズを把握し、新しい計画に反映させるために実施します。

皆さまには、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、計画策定以外に使用しませんので、ありのままをご回答ください。

令和元年#月

亀岡市

〈ご記入にあたってのお願い〉

- この調査票は、本人（本人が記入できない場合は、本人から聞き取りなどを行って介助者の方）が記入してください。
- この調査票には、お名前・ご住所を、記入しないでください。
- この調査は、あて名のご本人のことを「あなた」としてしています。できるだけあて名のご本人（あなた）がお答えください。何らかの事情で表現や記入が難しい方は、ご家族などの支援者が、あて名のご本人の意見や意向を聞き取り、意思を尊重して、ご記入をお願いいたします。
- 回答は質問にしたがって、選択肢のあてはまる番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- ○をつける時は、1つまたは（ ）内に指定した数の範囲内でお答えください。
- 質問項目で答えたくないものについては、空欄で結構です。
- ご記入いただいた調査票は、#月#日（*曜日）までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。
- ご記入にあたり、ご不明の点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

亀岡市 健康福祉部障害福祉課

TEL：0771-25-5031／FAX：0771-25-5511

Eメール：syougai-fukusi@city.kameoka.lg.jp

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

1. 亀岡地区 (亀岡地区 (東部、中部、西部))
2. 川東地区 (馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町)
3. 南部地区 (東別院町、西別院町、曾我部町)
4. 中部地区 (吉川町、蔦田野町、大井町、千代川町)
5. 西部地区 (本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町)
6. 篠地区 (篠町)
7. つつじヶ丘地区 (東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘)

問5 あなたが所持している障害者手帳は、次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 身体障害者手帳 | → 問6へ |
| 2. 療育手帳 | → 問9へ |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳 | → 問10へ |
| 4. 手帳は持っていない | → 問12へ |

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。

問6 「身体障害者手帳」の等級は何級ですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 4級 | 5. 5級 | 6. 6級 |

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。

問7 どのような障がいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障がい
2. 聴覚障がい、平衡機能障がい
3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい
4. 肢体不自由
5. 内部障がい
〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能〕

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。

問8 障がいの原因は、次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 交通事故 | 2. 労働災害 |
| 3. 先天性 (生まれつき) | 4. 疾病 |
| 5. その他 () | |

問5で「2. 療育手帳」と回答した方にお聞きします。

問9 「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(1つに○)

1. A

2. B

問5で「3. 精神障害者保健福祉手帳」と回答した方にお聞きします。

問10 「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。(1つに○)

1. 1級

2. 2級

3. 3級

問11 あなたが障害者手帳を初めて取得したのは、何歳でしたか。

満()歳

問12 あなたは、発達障がいの診断を受けていますか。

(広汎性発達障がい、自閉症など)(1つに○)

1. ある(疑いを含む)

2. ない

問13 次のうち該当するものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. アルコール依存症、薬物依存症
2. ギャンブル等依存症
3. 統合失調症、妄想性障がい、非定型精神症
4. 気分(感情)障がい(躁うつ病・うつ病を含む)
5. 神経症、ストレス関連障がい、身体表現性障がい及び解離性障がい
6. てんかん
7. 脳器質性精神障がい(アルツハイマー型認知症など)
8. 人格障がい
9. 自閉症スペクトラム
(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)
10. 注意欠陥/多動性障がい【AD/HD】
11. 学習障がい【LD】
12. 高次脳機能障がい
13. その他()
14. 該当するものはない
15. わからない

問 20 あなたは、65 歳になると、原則として、障がい福祉サービスから介護保険サービスに移行することについて、どのように考えますか。

現在、障がい福祉サービスを利用している方も利用していない方もお答えください。また、すでに 65 歳以上の方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 障がいの程度によっては、障がい福祉サービスを利用し続けたい。
2. 障がい福祉サービスを若い頃から利用していた人は引き続き障がい福祉サービスも利用できる、といった配慮をしてほしい
3. 所得の少ない障がい者にとって負担が増えないように考慮してほしい
4. サービスの質が低下しないように、事業所間の適切な引き継ぎをしてほしい
5. 移行する前に、わかりやすい情報を提供してほしい
6. その他 ()
7. 介護保険サービスに移行することに特に問題はない

問 21 あなたは、障害者総合支援法の障害程度区分認定を受けていますか。
(1つに○)

1. はい → 問 22 へ
2. いいえ → 問 23 へ

問 21 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

問 22 どのような区分ですか。(1つに○)

1. 区分 1
2. 区分 2
3. 区分 3
4. 区分 4
5. 区分 5
6. 区分 6
7. 非該当



2 地域活動への参加等

問 23 社会参加についてお聞きします。あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思いますか。

(1) 下記の①～⑪の項目について、「最近1ヶ月間に行った社会参加」の回数を()内に記入してください。

(2) また、「今後、参加したいと思いますか」について、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	(1) 最近1ヶ月間に行った社会参加	(2) 今後、参加したいと思いますか
①スポーツ	() 回	1. はい 2. いいえ
②趣味などの文化・芸術活動	() 回	1. はい 2. いいえ
③旅行	() 回	1. はい 2. いいえ
④買い物(日常の買い物を含む)	() 回	1. はい 2. いいえ
⑤ボランティア活動	() 回	1. はい 2. いいえ
⑥障がい者団体の活動	() 回	1. はい 2. いいえ
⑦講座や講演会などへの参加	() 回	1. はい 2. いいえ
⑧地域の行事や祭り、学校・職場の行事	() 回	1. はい 2. いいえ
⑨インターネットなどでの社会交流	() 回	1. はい 2. いいえ
⑩家族・友人・知人との交流	() 回	1. はい 2. いいえ
⑪自治会などの活動	() 回	1. はい 2. いいえ

問 24 あなたが地域での活動に参加するために、改善が必要な課題は何ですか。参加している方も参加していない方もお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 身近に参加できる活動が少ない
2. どのような活動が行われているのか情報が少ない
3. 会場までの交通の便がよくない
4. 活動の内容や、会場の設備などに、心身に生活のしづらさを抱えている人への配慮が少ない
5. 会場までの移動や、周りの人との意思疎通などを、助けてくれる人が少ない
6. 一緒に参加する仲間が少ない
7. 地域の人たちの障がいへの理解が十分でない
8. その他 ()
9. 特にない

問 25 あなたは、休みの日にはどのように過ごしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 造形活動 (絵画や陶芸など) | 2. 学習 (資格取得やパソコン講座など) |
| 3. 習いごと (華道や茶道など) | 4. 激しい運動 (パラリンピック種目など) |
| 5. 軽い運動 (ダンスや散歩など) | 6. 屋外での趣味 (釣りや庭いじりなど) |
| 7. 屋内での趣味 (読書やゲームなど) | 8. 泊りがけや日帰りの旅行 |
| 9. 映画や演劇の鑑賞 | 10. 外食やお茶 |
| 11. バザーやフリーマーケット | 12. ボランティア活動 |
| 13. 家族や友人との団らん | 14. ゆっくりり休息する |
| 15. その他 () | |

問 26 日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を感じることはありませんか。
(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. よく感じる | → 問 27 へ |
| 2. ときどき感じる | → 問 27 へ |
| 3. ほとんど感じない | → 問 28 へ |
| 4. まったく感じない | → 問 28 へ |

問 26 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。

問 27 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 仕事や収入 | 2. 教育の場 |
| 3. 人間関係 | 4. 冠婚葬祭 |
| 5. スポーツ・趣味の活動 | 6. 地域の行事・集まり |
| 7. 街のなかでの視線 | 8. 店などでの応対・態度 |
| 9. 交通機関の利用 | 10. その他 () |

問 28 障がいがあるために差別や偏見を感じることは、この5年間で変わったように思いますか (1つに○)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 増えたと思う | 2. あまり変わらないと思う |
| 3. 減ったと思う | 4. 差別や偏見を感じたことがない |
| 5. わからない | |

問 29 障害者差別解消法では、障がい者に対する合理的配慮を行うことが求められています。その合理的配慮について知っていますか。(1つに○)

※合理的配慮とは、心身に生活のしづらさを抱えている人が日常生活や社会生活を送るうえで妨げとなる社会的障壁を取り除くために、過度の負担にならない範囲で状況に応じて行われる配慮のことです。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 多少は知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. まったく知らない |

問 30 亀岡市では、平成 30 年 4 月 1 日に「亀岡市手話言語および障害者コミュニケーション条例」を施行しています。この条例について知っていますか。

(1つに○)

※「亀岡市手話言語および障害者コミュニケーション条例」は、手話言語を言語として認識するとともに、あらゆる障がい者が必要とするコミュニケーション手段の普及を促進することにより、すべての市民が互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら自分らしく豊かに暮らすことができる地域社会を構築するために制定しました。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 多少は知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. まったく知らない |

問 31 あなたは、心身に生活のしづらさを抱えている人への市民の理解を深めるためには、何が特に必要だと考えますか。(3つまでに○)

- | |
|---|
| 1. 障がいや障がい者問題に関する広報・啓発の充実 |
| 2. 障がいへの理解を深めるために活動する市民団体への支援 |
| 3. 心身に生活のしづらさを抱えている人へのボランティア活動の推進 |
| 4. 心身に生活のしづらさを抱えている人との市民交流を通じての理解と参加の促進 |
| 5. 学校における福祉教育の充実 |
| 6. 障がいに関する講演会や学習会の開催 |
| 7. 心身に生活のしづらさを抱えている人の積極的な社会への進出 |
| 8. 福祉施設の地域への開放や、地域住民との交流 |
| 9. 心身に生活のしづらさを抱えている人の地域のまちづくりへの参加 |
| 10. その他 () |
| 11. 特にない |
| 12. わからない |

3 生活支援

問 32 あなたは、どこで暮らしていますか。(1つに○)

1. 持ち家 (家族・親せきの持ち家も含む)
2. 公営住宅 (グループホームなど以外)
3. 民間アパート、借家 (グループホームなど以外)、社宅
4. 入所施設
5. グループホーム
6. その他 ()

問 33 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたから見た続柄で、該当する方をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母
2. 配偶者 (夫または妻)
3. 兄弟・姉妹
4. 子や孫 (子の配偶者を含む)
5. 祖父母
6. 友だち・仲間など
7. その他 ()
8. 一人で暮らしている

問 34 ふだん、あなたを介助しているのは、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 父母
2. 配偶者 (夫または妻)
3. 兄弟・姉妹
4. 子や孫 (子の配偶者を含む)
5. 祖父母
6. 友だち・仲間など
7. ボランティア
8. ホームヘルパー・ガイドヘルパー、施設などの職員
9. その他 ()
10. 介助は受けていない

問 35 今後、どのような暮らし方をしたいですか。(1つに○)

1. 一人で暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. 結婚して配偶者 (夫または妻) と暮らしたい
4. 福祉施設 (障がい者施設、高齢者施設など) で暮らしたい
5. 仲間と地域で共同生活がしたい (グループホームなど)
6. その他 ()

問 36 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 就職など仕事のこと | 2. 経済的なこと |
| 3. 健康・医療のこと | 4. 家族のこと |
| 5. 住まいのこと | 6. 結婚・育児のこと |
| 7. 将来の生活のこと | 8. 援助のこと |
| 9. 生きがいのこと | 10. 友人関係のこと |
| 11. 学校のこと | 12. 近所づきあいのこと |
| 13. 施設での生活のこと | 14. お話をすることや気持ちを伝えたり
すること |
| 15. 障がいの軽減・訓練のこと | 16. 社会参加のこと |
| 17. 障がいに対する差別や偏見のこと | 18. その他 () |
| 19. 特に困っていることや不安はない | |

問 37 現在の困ったときの相談体制について、あなたはどのように感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 満足している |
| 2. 近所に相談の場や人がいないので不満である |
| 3. 気軽に相談できる場や人がいないので不満である |
| 4. 夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である |
| 5. コミュニケーションの支援
(手話、要約筆記、コミュニケーション支援ボードなど) が十分でない |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

問 38 仕事、手当、年金などで得られるあなたの1ヶ月の収入はどれくらいですか。
(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 0～2万円未満 | 2. 2～4万円未満 |
| 3. 4～6万円未満 | 4. 6～10万円未満 |
| 5. 10～15万円未満 | 6. 15万円以上 |

問 39 その収入の種類は何種類ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 給与・賃金 | 2. 事業収入 |
| 3. 年金 | 4. 手当 |
| 5. 生活保護 | 6. 仕送り |
| 7. その他 () | 8. 収入はない |

問 40 サービスに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 職場 | 4. 学校 |
| 5. 通所先（施設など） | |
| 6. 心身に生活のしづらさを抱えている人の団体・支援団体 | |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 障がい者相談員 |
| 9. 医療機関（病院、診療所など） | 10. サービス提供事業所
(ヘルパー事業所など) |
| 11. ボランティア | 12. 市役所の窓口（障害福祉課など） |
| 13. 相談支援事業所（障害者相談支援センターお結び、松花苑生活支援センター、
地域活動支援センター“圭”、花ノ木医療福祉センター、相談支援センター巴、
相談支援センター ふれあいハート、相談支援事業所 はぴ・ねっと） | |
| 14. 市の広報紙 | 15. 市役所以外の相談機関 |
| 16. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 17. インターネット（携帯電話も含む） |
| 18. SNS（Facebook・LINE・ブログなど） | 19. その他（ ） |
| 20. 特に情報を入手していない | |

問 41 あなたは、どのような情報の提供をとくに望めますか。（3つまでに○）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 障がい福祉サービスの利用手続や利用方法について |
| 2. 障がい福祉サービスを提供する事業所について |
| 3. 病院や診療所などの医療機関について |
| 4. 相談できる窓口について |
| 5. 福祉に関する法律や制度について |
| 6. 心身に生活のしづらさを抱えている人の権利を守る制度や仕組みについて |
| 7. 地域で参加できる行事やイベントについて |
| 8. スポーツやレクリエーション活動について |
| 9. 心身に生活のしづらさを抱えている人たち同士の当事者活動について |
| 10. 心身に生活のしづらさを抱えている人の就労支援や職業紹介について |
| 11. 住まいや生活の場について |
| 12. その他（ ） |
| 13. とくに提供してほしい情報はない |

問 42 あなたは、日常生活で支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理ができますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|---------------|---------|
| 1. 一人でできる | 2. 手助けがあればできる | 3. できない |
|-----------|---------------|---------|

問 43 あなたは、これまでに悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことがありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問 44 現在、成年後見制度を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している	2. 制度利用の申請手続きをしている
3. 制度内容や利用の仕方がわからない	4. その他 ()
5. 利用する必要がない	6. 利用しているかどうかわからない

問 45 あなたは、以前に比べて、老化が原因と思われる体調の低下を感じることはありませんか。(各項目あてはまるものそれぞれ1つに○)

	1. ある	2. ない
①今までできたことができなくなった (つまづく、もの忘れなど)	1	2
②歩いたり、移動するのが遅くなった	1	2
③細かいものが見えにくくなった	1	2
④極端に太ったり、痩せてきた	1	2
⑤疲れやすく、疲れが取れにくくなった	1	2
⑥怒りっぽくなった	1	2
⑦課題に取り組む意欲が減ってきた	1	2

問 45 で項目のひとつにでも「1. ある」と回答した方にお聞きします。

すべての項目に「2. ない」と回答した方は、問 47 へお進みください。

問 46 あなたは、いつ頃から老化を感じ始めましたか。(1つに○)

1. 29 歳以下	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上

問 47 あなたが毎日の生活を送る上で、特に必要となることは、次のどれですか。
(3つまでに○)

1. 生活の場の確保 (グループホームを含む)
2. 施設における生活の充実
3. 移動支援 (ガイドヘルプ) の充実
4. 居宅介護 (ホームヘルプ) の充実
5. 車いす・補聴器など福祉機器の普及
6. 自治会・NPO・ボランティア・隣近所など地域社会とのつながり
7. 自分の権利を守ってくれる (権利擁護) 制度の普及
8. 文化・スポーツ活動への参加の支援
9. 福祉制度やサービスを利用するための相談支援体制の充実
10. コミュニケーションの支援 (手話通訳、要訳筆記など) の充実
11. 広報紙やインターネットなど幅広い情報提供の充実
12. 自分の家族などの負担を軽減する支援の充実
13. 行政の政策などを検討する場に参加する機会の充実
14. 訪問看護・病院など医療機関の充実
15. 心身に生活のしづらさを抱えている人たち同士の交流や活動への支援
16. その他 ()
17. 特にない



4 生活環境

問 48 あなたは、どれくらいの頻度で外出しますか。
(通勤、通学、通院などを含みます。)(1つに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 毎日 | 2. 週5～6日くらい |
| 3. 週3～4日くらい | 4. 週1～2日くらい |
| 5. 月に2～3回など不定期 | 6. その他 () |
| 7. ほとんど外出しない | |

問 49 あなたは一人で外出することができますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 一人で外出できる | → 問 51 へ |
| 2. 介助者がいれば外出できる | → 問 50 へ |
| 3. 介助者がいても外出できない | → 問 51 へ |

問 49 で「2. 介助者がいれば外出できる」と回答した方にお聞きします。

問 50 あなたは誰と外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 家族 | 2. 親戚 |
| 3. 近所の人 | 4. ヘルパー |
| 5. その他 () | |



問 51 あなたの身の回りで、外出のときに必要な設備や支援、改善が特に必要であるものは、何ですか。(3つまでに○)

1. 障がいへの理解が不足している(視線などが気になるなど)
2. 緊急事態が起こった時の対応に不安がある
3. 障がい者用トイレや障がい者専用駐車場が整備されていないなど、バリアフリー化が進んでいない
4. 道路の段差、歩道に障害物などがあり、通行が困難
5. タクシー、路線バス、電車の利用が困難、不便である(料金などの支払いなど)
6. まわりの人の手助け・配慮が足りない
7. 付き添ってくれる介助者、援助者を確保することが困難
8. 障がいの特性に配慮した案内板や周辺地図などの文字・地図情報が少ない
9. 外出時に利用したい障がい福祉サービスなどが利用できない
10. 移動する交通手段がない
11. 福祉タクシーやリフト付き車両などが利用しにくい
12. 点字ブロック、音声付信号機が少ない
13. 車道と歩道の区別がわかりにくいので危険を感じる
14. まわりの人とのコミュニケーションを取りにくい
15. その他()
16. 特にない

問 52 亀岡市では、災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが難しい人をあらかじめ把握し、災害時に要支援者の避難を支援するための名簿「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この制度を知っていますか。(1つに○)
※個人の申請により登録される名簿ではありません。

1. はい
2. いいえ

問 53 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはひとりで避難できると思いますか。(1つに○)

1. ひとりで避難できると思う
2. ひとりでは避難できないと思う
3. わからない

問 54 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはどこに避難するか決めていますか。(1つに○)

1. 決めている
2. 決めていない

問 55 災害時の救援のために、個人情報の保護を条件として、あなたの手帳情報をあなたが了承する範囲で行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいと思いますか。(1つに○)

1. はい

→ 問 57 へ

2. いいえ

→ 問 56 へ

問 55 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問 56 それは主にどのような理由によりますか。(1つに○)

1. 個人情報の流出が不安であるため

2. 情報を伝えても救援が期待できないため

3. その他 ()

問 57 あなたは、災害発生時に支援してほしいこととして、どのようなことを特に望みますか。(3つまでに○)

1. 災害情報を知らせてほしい

2. 必要な治療や薬を確保してほしい

3. 避難場所を教えてほしい

4. 避難時の声かけをしてほしい

5. 避難場所までの避難を支援してほしい

6. 避難場所で介護してほしい

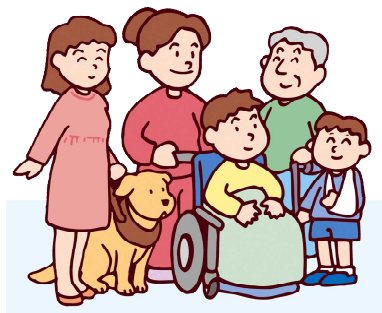
7. 手話など、コミュニケーション手段を確保してほしい

8. 避難場所の設備（トイレ・段差など）をバリアフリー化してほしい

9. 福祉避難所（一般の避難所とは別に設置される、障がいのある人などが避難できる場所）での支援

10. その他 ()

11. 特にない



6 亀岡市の施策の満足度・重要度

問 66 亀岡市の障がい者施策全般についてお聞きします。

(1) 次の1～7の項目について、「現在の満足度」はどの程度になりますか。その程度をそれぞれの項目ごとに「満足」の「5」から「不満」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

(2) 次に、「今後の重要度」について、市の障がい者施策でどの分野を重要視すべきかを「重要」の「5」から「重要でない」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

項目	(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
1. ふれあいと交流による「顔のみえる」関係づくり										
①障がいを理由とする差別の解消 ○障がいや障がいのある人に対する偏見をなくし、理解を深めていく取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②学校・家庭・地域における福祉教育の推進 ○障がい者問題や福祉について一緒に学べる学習の場	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③交流・ふれあいの場の充実 ○障がいのある人とない人が交流し、ふれあうことのできる場	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ボランティア活動などへの支援 ○市民のボランティア活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤地域で支える基盤づくり ○地域の見守り・支え合い活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥権利擁護の推進 ○権利擁護事業 ○成年後見制度	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 地域生活を支える体制づくり										
①在宅福祉サービスの充実 ○在宅でのサービス ○ホームヘルプサービス ○日中活動の場 ○ショートステイ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない
②居住支援の充実 ○居住支援サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③経済的支援の充実 ○各種福祉手当の支給 ○各種減免制度の周知	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④保健・医療の充実等 ○障がいの特性に合った適切な医療やリハビリテーションに対応できる医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 障がいや疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実										
①療育・保育・教育における支援体制の充実 ○早期発見・療育体制（乳幼児健康審査） ○相談体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②インクルーシブ教育システムの構築 ※インクルーシブとは、障がい児教育などにおいて、一人ひとりが障がいの有無にかかわらず、社会に受け入れられ、適切な支援を受けられること。 ○障がい児教育 ○学びやすい教育環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4. 生きがいを持っていきいきと活動できる社会づくり										
①総合的な就労支援 ○総合的な就労支援のための関係機関の連携 ○ジョブコーチなど就労支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②障がい特性に応じた就労支援及び多様な就業の機会の確保 ○就労を支援する事業所の充実 ○福祉施設から一般就労への移行を促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③文化芸術活動、スポーツ等の振興 ○学習機会 ○障がい者スポーツ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 安心・安全な環境づくり										
①福祉のまちづくりの推進 ○公共施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまりでない	重要でない
②移動条件の整備 ○福祉タクシー制度 ○ボランティアによる移動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③防災対策の推進 ○災害時の適切な情報提供・避難誘導などの体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④防犯対策の推進、消費者トラブルの防止及び被害からの救済 ○犯罪や悪質商法などの被害にあわないための情報提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. 相談体制・情報提供の仕組みづくり										
①相談体制の充実 ○障害者相談支援センター ○相談窓口	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②情報アクセシビリティ（情報の利用しやすさ）の向上 ※情報アクセシビリティとは、パソコンやweb ページをはじめとする情報関連のハード、ソフト、サービスなどを、障がいのある人を含む多くのユーザーが不自由なく利用できること。 ○情報提供・表示などの方法 ○聴覚障がい者や視覚障がい者に対するコミュニケーション手段の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7. 行政サービス等における配慮の推進										
①行政機関等における配慮及び障がい者理解の促進等 ○市職員等の窓口対応や、行政情報の提供における配慮	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②選挙における配慮 ○投票所のバリアフリー化や、不在者投票の適切な実施	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 69 で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

問 70 あなたは、下記のうち、どのサービスを利用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護 (ホームヘルプ)
2. 重度訪問介護 (※重度の肢体不自由・知的障がい・精神障がいのある方のみ)
3. 同行援護
4. 行動援護 (※行動上著しい困難のある知的障がい・精神障がいのある方のみ)
5. 重度障害者等包括支援
6. 生活介護
7. 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
8. 就労移行支援 (※65 歳未満の方のみ)
9. 就労継続支援 [A型] (※65 歳未満の方のみ)
10. 就労継続支援 [B型]
11. 就労定着支援
12. 療養介護
13. 短期入所 (ショートステイ)
14. 意思疎通支援事業 (手話通訳、要約筆記派遣事業などを含む)
15. 日常生活用具給付等事業
16. 移動支援事業 (ガイドヘルパー派遣)
17. 地域活動支援センター
18. 訪問入浴サービス事業
19. 日中一時支援事業
20. 自立生活援助
21. 共同生活援助 (グループホーム)
22. 施設入所支援
23. 計画相談支援
24. その他 ()

問 69 で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

問 71 現在利用しているサービスで不満な点がありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 不満はない | → 問 73 へ |
| 2. 不満がある | → 問 72 へ |

9 雇用・就業

問 76 から問 85 までは、64 歳以下の方がお答えください。

65 歳以上の方は回答せずに、「問 86（介助者（介護者）の状況）」へお進みください。

問 76 あなたは、仕事をしていますか。（1つに○）

- | | |
|----------|----------|
| 1. している | → 問 77 へ |
| 2. していない | → 問 79 へ |

問 76 で「1. している」と回答した方にお聞きします。

問 77 仕事をしている状況について教えてください。（1つに○）

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 企業などで正社員・正職員として働いている | → 問 78 へ |
| 2. 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている | → 問 78 へ |
| 3. 福祉施設・障がい者就労施設などで働いている（福祉的就労） | → 問 81 へ |
| 4. 自営業を営んでいる | → 問 81 へ |
| 5. 内職・家事手伝い | → 問 81 へ |
| 6. その他（ ） | → 問 81 へ |

問 77 で「1. 企業などで正社員・正職員として働いている」または「2. 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」と回答した方にお聞きします。

問 78 障がい者雇用の制度を利用して働いていますか。（1つに○）

※障害者雇用促進法では、従業員が一定数以上の規模の民間企業に対して、雇用する労働者の 2.2%に相当する障がい者を雇用することを義務付けています。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 障がい者雇用で働いている | 2. 障がい者雇用で働いていない |
|-----------------|------------------|

問 76 で「2. していない」と回答した方にお聞きします。

問 79 働いていないのは、主にどのような理由によりますか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 年齢のため（学生など） | 2. 障がいや病気のため |
| 3. 求職中または職業訓練中である | 4. 働く場が見つからない |
| 5. 自分に合う（できる）仕事がない | 6. 仕事をする必要がない |
| 7. その他（ ） | |

問 76 で「2. していない」と回答した方にお聞きします。

問 80 あなたは、平日の昼間には主にどのように過ごしていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 家で過ごしている | 2. 入所施設や病院などで過ごしている |
| 3. 通所事業所などに通っている | 4. 学校に通っている |
| 5. ボランティアやサークルで活動している | 6. その他 () |

問 81 あなたは、働く上で、どのような条件が特に必要ですか。

現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(3つまでに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 仕事に選択肢があること |
| 2. 変則的な勤務形態が可能であること |
| 3. 賃金が妥当であること |
| 4. 心身の生活のしづらさを抱えている人に配慮した設備が整っていること |
| 5. 通勤手段があること |
| 6. 就業を継続するための支援体制が充実していること |
| 7. 自宅で仕事ができること |
| 8. 障がいに対する周囲の理解があること |
| 9. 通院などの保障があること |
| 10. 就労のための職業訓練が充実していること |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

問 82 あなたは、心身に生活のしづらさを抱えている人の雇用・就業に関して、どのようなことが特に必要であると思いますか。(2つまでに○)

- | |
|--|
| 1. 企業などへの障がい者雇用の義務付けの徹底 |
| 2. 雇用と福祉が連携した就労支援の充実 |
| 3. 在宅就労を可能にするための企業への働きかけ |
| 4. 心身に生活のしづらさを抱えている人のための作業場・施設の確保・支援 |
| 5. 就職後も心身に生活のしづらさを抱えている人が長く仕事を続けられるための支援 |
| 6. その他 () |
| 7. 特にない |

問 83 あなたは、今までに、障がいが主な理由で、仕事をやめたことがありますか。

現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 84 あなたは、今後、どのような仕事をしたいですか。

現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(1つに○)

※今後も現在と同じ働き方を希望される場合には、問 77 で○をつけた選択肢と同じ番号に○をつけてください。

1. 企業などで正社員・正職員として働く
2. 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働く
3. 福祉施設・障がい者就労施設などで働く (福祉的就労)
4. 自営業を営む
5. 内職・家事手伝い
6. その他 ()
7. 働けない・働きたくない

→ 問 86 へ

問 84 で「7. 働けない・働きたくない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 85 あなたは、今後、可能であれば、どこで仕事をしたいですか。(1つに○)

1. 自宅
2. 亀岡市内や近隣市町村など南丹地域
3. 京都市や大阪市など亀岡市に近い都市
4. 関東や九州など亀岡市から遠い地方
5. その他 ()



10 介助者（介護者）の状況

問 86 から問 94 までは、主な介助者（介護者）の方がお答えください。

介助者（介護者）がいない場合及び介助者（介護者）がホームヘルパー・施設職員などの場合は回答せずに、「問 95（自由意見）」へお進みください。

※なお、回答する介助者（介護者）の方は、本人が回答内容を確認したり、本人が代わって回答することのないように、ご配慮をお願いいたします。

問 86 介助者（介護者）の方の年齢は、何歳ですか。

※令和元年#月#日現在でお答えください。

満（ ）歳

問 87 介助（介護）を始めてどれくらいですか。

※令和元年#月#日現在でお答えください。

（ ）年（ ）か月

問 88 介助（介護）について困っていることはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 心身が疲れる | 2. 自分の時間が持てない |
| 3. 経済的負担が大きい | 4. 仕事・家事が十分にできない |
| 5. その他（ ） | 6. 困っていることはない |

問 89 介助（介護）に関して、誰に、またはどこに相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 職場の人 | 4. 学校の教職員 |
| 5. 通所先（施設など）の職員 | |
| 6. 心身に生活のしづらさを抱えている人の団体・支援団体 | |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 障がい者相談員 |
| 9. ケアマネジャー（介護保険サービス） | 10. 医療機関（病院、診療所など） |
| 11. ホームヘルパー | 12. ボランティア |
| 13. 市役所の窓口（障害福祉課など） | |
| 14. 相談支援事業所（障害者相談支援センターお結び、松花苑生活支援センター、地域活動支援センター“圭”、花ノ木医療福祉センター、相談支援センター巴、相談支援センター ふれあいハート、相談支援事業所 はぴ・ねっと） | |
| 15. 専門機関（府・保健所など） | 16. その他（ ） |
| 17. 相談相手がない | 18. 相談ごとはない |

問 90 本人がサービスを現在利用している場合、その理由は何ですか。また、現在サービスを利用していない場合、サービスを利用するとしたら、どのような理由で利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門的な能力を必要とする介助（介護）があるため
2. 本人を介助（介護）したい場合でも、仕事をしているため
3. 本人を介助（介護）したい場合でも、家庭の用事があるため
4. 介助者（介護者）の休息のため
5. 本人が充実した余暇を過ごせるようにするため
6. その他（ ）

問 91 病気や事故、休養などで一時的に介助（介護）できなくなった場合、どのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親戚に頼む
2. 友人や知人に頼む
3. ボランティアや支援団体に頼む
4. 有料の人材派遣に頼む
5. ホームヘルプを利用
6. 訪問看護を利用
7. ショートステイを利用
8. その他（ ）
9. 頼める人やサービスがない
10. 介助（介護）を頼んだら断られた

問 92 今後の生活において、どのような不安がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の体調が低下せずに、本人を介助（介護）できるか
2. 経済的に今の生活を続けられるか
3. 身近に相談できる人を見つけられるか
4. 本人が自立して生活できる場を見つけられるか（グループホームなど）
5. 本人に代わって契約や金銭管理できる人を見つけられるか（成年後見人など）
6. 本人が障がい者を狙った犯罪の被害者にならないか
7. 本人が障がいへの偏見から差別されないか
8. その他（ ）
9. 今後の生活に不安はない



問 93 今後、本人がどのような暮らし方をすることを望みますか。(1つに○)

- 1. 一人で暮らす
- 2. 家族と一緒に暮らす
- 3. 結婚して配偶者(夫または妻)と暮らす
- 4. 福祉施設(障がい者施設、高齢者施設など)で暮らす
- 5. 仲間と地域で共同生活する(グループホームなど)
- 6. その他()
- 7. わからない

問 94 現在、家族生活において本人との関係で困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 本人と意思を伝えあうのが難しい
- 2. 本人とけんかすることが度々ある
- 3. 家庭内暴力
- 4. ひきこもっている
- 5. その他()
- 6. 特にない

11 自由意見

問 95 亀岡市の障がい者施策全般について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。記述欄が足りない場合は、別紙に記述し、返信用封筒に同封してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご返信ください。